

歯科衛生士ワークショップ 4月28日(土) 18:20-19:20 第3会場

コーディネーター がん・感染症センター都立駒込病院看護部 歯科衛生士主任 池上 由美子

『あなたもできる！緩和ケアのサポート』
～症例を通じて学ぼう、グリーフケアについて～

みなさんとまた第15回日本口腔ケア学会でお会いできる日が近づいてきました。

昨年は、急性期病院から在宅へ退院する患者さんに在宅ケアとしてどのような職種の連携が必要であるか？異なる2症例を通じてワークショップで学びました。

非常に、熱い活気溢れる時間を皆さまと過ごせたと思います。ありがとうございました。

近年、みなさんも感じている通り私達歯科衛生士の社会的な環境は大きく変わってきております。

少子高齢社会となりこれからは少産多死の社会への対応が求められていきます。病院の機能は、より急性期と慢性期が明確となり多くの患者さんは地域や自宅へ退院して行きます。

人生の幕引きを自宅で迎える患者さんも増えていくことでしょう。

今回のコンセンサスカンファレンスでも、『緩和ケアと口腔ケア』についての討論が行われますが、まだまだ緩和ケアについての学びが緩和をサポートする多職種の中でも我々歯科衛生士の教育は非常に少ないと痛感しております。

そこで今回は、症例を通じて緩和ケアの中でも家族や患者さんの死に関わったスタッフへのグリーフケアについてどのように取り組んだらよいか？ワークショップを行いながらみなさんと学びたいと思います。

このワークショップに参加した多くの歯科衛生士の方が、それぞれの職場でこの経験を持ち帰って是非職場内で伝達講習を開いて欲しいと思います。

1人でも多くの歯科衛生士が、患者さんの最後の輝きに寄り添い共に歩める。そして、死に関わったスタッフの想いを傾聴しその想いをみんなで受け止めて成長できるそんな職場を作っていけたらと願っています。

参加を希望される方は、学会のホームページから申し込みを行ってください。大変申し訳ございませんが、会場などの都合から先着80名様限定とさせていただきます。

皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

よろしく願いいたします。